お施主様向け取扱説明書

ウチリモ 引違い窓

▌お願い▐

YKK AP 商品を長く安全にお使いいただくために、
ご使用前によくお読みください。

ID:262

もくじ

はじめにお読みください ≫

1 安全にお使いいただくために ≫

2 使い方 ≫

3 お手入れ ≫

4 困った時には ≫

5 保守点検 ≫

6 保証について ≫

≪もくじに戻る

はじめにお読みください

このたびはYKK AP商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本マニュアルは、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。
商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。
当社ホームページの情報も併せてご利用ください。

本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をご使用ください。

■危険／警告／注意／お願い

表　示	意　味
⚠危険	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いと想定される
⚠警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される
⚠注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うかまたは物的損害（※3）が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

（※1）重傷とは、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、身体機能に欠損および／または後遺障害が生じる傷害、または前記に至らないまでも30日以上の加療を要する傷害をいう。
（※2）軽傷とは重傷に至らない傷害をいう。
（※3）物的損害とは、家屋・家財およびペット等にかかわる拡大損害をいう。製品自体の破損は含まない。
物的損害の程度は、(財)日本科学技術連盟が開発したリスクマップ(R-Map)の「危害の程度」に準じる。

■記号

記　号	意　味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

安全上のご注意

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。
個々の商品の注意事項は、各商品の説明ページにも記載されていますので、併せてご確認ください。

窓についての注意事項

⚠警告


[強制]

窓の開閉に異常を感じた場合は、使用を中止し、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室にお問い合わせください。
そのまま使用を続けると、窓の脱落や、突然窓が下がり指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

内窓をご使用の際は、適度に換気を行ってください。
特に、ガスや石油機器をご使用になる場合は、必ず換気を行ってください。
内窓を設置すると、気密性が高まり、空気が滞留するため、締め切った状態でご使用になると、一酸化中毒など、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意


[強制]

はずれ止めが正しくセットされていることを確認してください。
はずれ止めが正しくセットされていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

ウチリモ


[強制]

引違い窓やFIX 窓は定期的に点検し、赤色表示が見えないこと
(引違い窓 :窓上部、FIX 窓 :窓下部)を確認してください。
赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

プラマードU


[強制]

引違い窓やFIX 窓は定期的に点検し、窓上部に赤色表示が見えないことを確認してください。
赤色表示が見える場合、枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[禁止]

窓にぶつかったり、寄りかかったり、無理な力をかけたりしないでください。
窓の破損や落下により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[禁止]

ハンドルなどにぶらさがって遊ばないでください。
ハンドルなどが破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。


[強制]

窓の表面や金属部分は、直射日光で熱くなることがあります。
やけどなどしないようご注意ください。

お願い

必ず外窓を閉めて施錠したうえで、内窓を閉めてください。
外窓を開けたまま内窓を閉めると、雨水の浸入や、風圧などにより内窓が変形したり、破損したりするおそれがあります。

マンションなどの高層階では、強風時には必ず外窓を閉めて内窓を少し開けてください。
強風により住戸内外に圧力差が生じた場合、内窓が変形したり、破損したりするおそれがあります。
長期不在時も同様に、外窓を閉めて内窓を少し開けてください。

窓の近くを通る時は、開いている窓や部品にぶつからないようご注意ください。
窓の破損につながるおそれがあります。

外出や就寝の際は、必ず窓を閉め、確実にロックしてください。
ロック後、窓が開かないことを確認してください。

窓の開閉時の注意事項

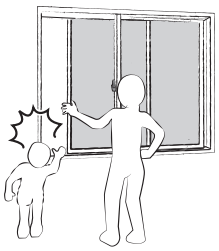
⚠注意

窓　スライド系（引違い窓）

[強制]

周囲に人がいないことを確認

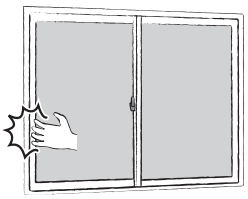
窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓が人にぶつかったり、窓で指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓と枠、窓と窓のすき間に注意

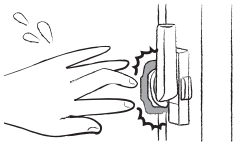
窓の開閉時に、窓と枠、窓と窓のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

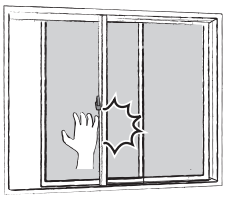
部品のすき間に注意

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。
勢いよく開閉すると、部品の破損や指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



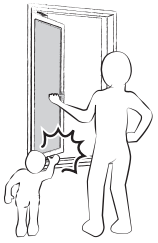
⚠注意

窓　スイング系（内開き窓・開き窓テラス）

[強制]

周囲に人がいないことを確認

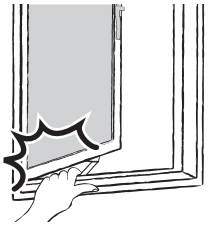
窓の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓が人にぶつかったり、窓で指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

窓と枠のすき間に注意

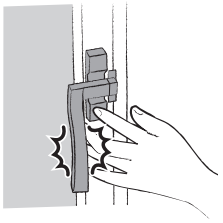
窓の開閉時に、窓と枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

窓の開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。
ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



お願い

窓の開閉時に、誤って室外に転落しないようご注意ください。

窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。
無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような（乱暴な）開閉をすると、窓を破損するおそれがあります。

窓の調整・お手入れ時の注意事項

⚠警告


[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様が飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠注意


[強制]

お手入れなどで、窓をはずして再び取り付ける際は、必ずはずれ止めをセットしてください。
正しくセットされていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。
窓にぶつかり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

お手入れの際、窓の端部や部品の角にご注意ください。
指や手を切ったり、はさんだり、巻き込まれたりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

お手入れ時に、誤って室外に転落しないようご注意ください。

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

調整・お手入れ時に、誤って窓を倒したり、落下させたりしないようご注意ください。

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

ご使用にあたって

商品を長く正常な状態でご使用いただくために、日常生活の中で気をつけていただきたい事項です。

●窓の点検について

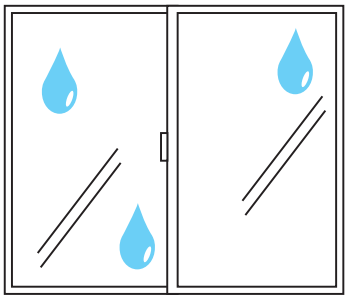
長期間、窓をご使用になると、ネジのゆるみが発生することがあります。お手入れの際、商品のネジ部品がはずれたり、ゆるんだりしていないことを点検してください。
（「第６章　保守点検」）

知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と感じることがある現象も、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

結露について



結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合、季節を問わず発生します。
これは自然現象のひとつであり、窓の不具合ではありません。
また、室内の環境状況によっては、断熱窓を使用していても発生する場合があります。
完全になくすことはできませんが、できるだけ発生を抑える方法として下記の点を心がけてください。

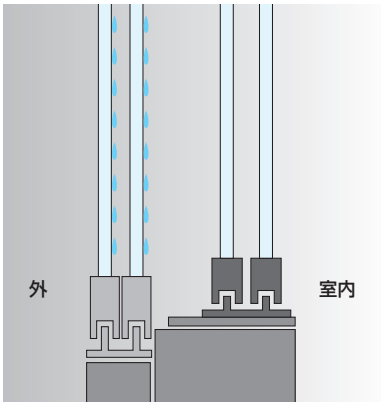
① 過度な加湿の防止（上限 60%）
② 換気の促進
③ 室温は適温に保つ
④ 空気の流れをよくする

『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。
ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡ください。（ 0120-20-4134）

外窓（既設サッシ）の結露について

内窓を付けても、外窓（既設サッシ）に結露が発生することがあります。
内窓の防露性は、内窓の結露を大きく減少させる効果がありますが、外窓（既設サッシ）への結露が発生しやすい条件もあわせもっています。室内の暖かい熱が内窓に遮断されるため、外部に熱が伝わりにくく、外窓（既設サッシ）の表面温度が下がるなど、結露が発生しやすい条件になるためです。

※結露は自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。



既設サッシ+**ウチリモ**

内窓と外窓の間の温度上昇について

内窓と外窓を長時間閉めた状態にしておくと、外部環境によっては内窓と外窓の間の空間が高温になる場合があります。少し開けて換気を行ってください。

※内窓と外窓の間の空間が高温になることで起こりうる現象
① 樹脂形材や額縁の変形・収縮
② 樹脂形材や額縁の変色（熱+ 直射日光による）
③ ガラスの熱割れ（特に外窓が網入りガラスの場合）

ガラスの熱割れについて

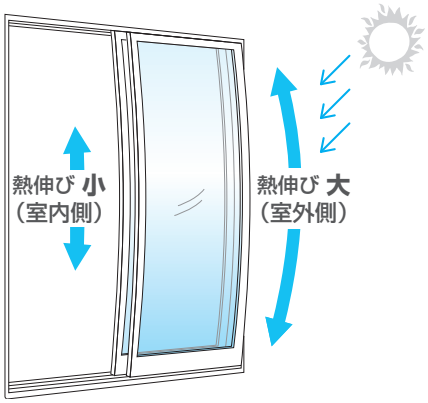
ガラスは熱によって膨張する性質を持っているため、直接日射を受ける部分と窓枠などの中に隠れている部分とで、温度の差による熱膨張差が生じます。
この熱膨張差がガラスの持っている「強度」を超えた場合、ガラスが割れます。
これが網入りガラスに多く見られる「熱割れ」と呼ばれる現象です。
ガラスに割れが発生した場合、すみやかに交換してください。

熱割れを予防するポイント

- ガラス面にカーテンやブラインドを密着させない。
- 暖房・冷房の温風・冷風をガラスに直接当てない。
- ガラス面に紙を貼ったり、ペンキを塗ったりしない。
- 室内に熱だまりをつくらない。

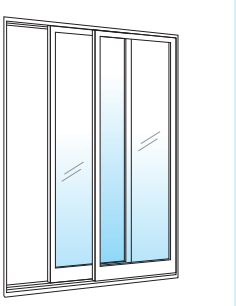
真空ガラスの熱反りについて

真空ガラスは室内外の温度を伝えにくい構造になっているため、日差しや室内外の温度差により、ガラス本体室外側の面と、室内側の面で伸びる量に差が生じます。これにより、反りが発生する場合があります。
また立地条件、ひさしの形状により反り量は一定ではありません。一時的な現象であり、ガラス本体の室外側と室内側の表面温度差が小さくなると元に戻ります。
特に、内外の窓が同じ位置で重なり合う状態では、窓の間に熱がたまり、異常な高温状態となる場合があります。

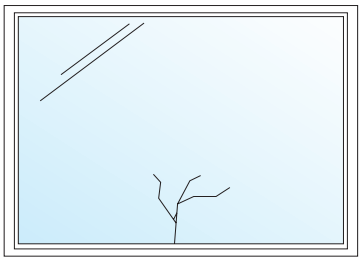


熱反りを予防するポイント

- 日中、引違い窓等を開け放して使う際は、２枚の窓が完全に重なり合わないよう、ずらして使用する。

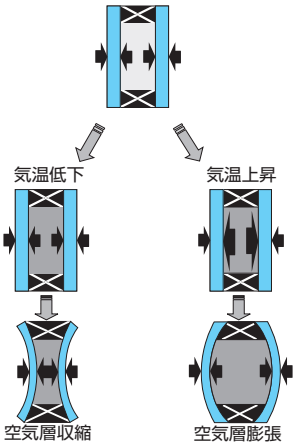


複層ガラスの亀裂について



複層ガラスは、硬いものなどの衝撃、飛来物などの外力によってできるキズや、ごくまれにガラス中に残存する不純物に起因するキズにより、突然亀裂が入る場合があります。
商品ご使用の際は、ガラス面にキズなどがつかないようご注意ください。
ガラスに亀裂が発生した場合は、すみやかに交換してください。
キズがついてしまった場合は、お早めにまずお取り扱いの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。

複層ガラスのゆがみや、こすれについて



複層ガラス表面に反射して写る映像がゆがんで見えたり、ガラス同士がこすれたりすることがありますが、複層ガラスの構造上さけられない現象です。
複層ガラスの中空層は密閉された構造のため、温度や気圧の変化などによって内部の空気の収縮や膨張が起こります。
これにより、ガラスが湾曲しガラスの表面に反射して写る映像がゆがんで見えたり、ガラス同士がこすれたりすることがあります。

Low-E ガラス採用時の携帯電話等の送受信障害について

Low-E ガラスをご使用の場合、携帯電話などの電波機器をご使用時、送受信に障害が出る場合があります。

格子入複層ガラスの音鳴りについて

格子入り複層ガラスは、窓の開閉時の衝撃や振動などにより、複層ガラス内の格子が一時的に振動することで、格子とガラスが接触し、音を発することがあります。

樹脂製商品への殺虫剤などの薬剤散布によるひび割れ、はがれについて

薬剤が樹脂表面に付着すると、ひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

ひび割れ・はがれを予防するポイント

- 殺虫剤などの薬剤を樹脂表面に塗布・散布・付着させないように注意する。

引違い窓（ウチリモ）

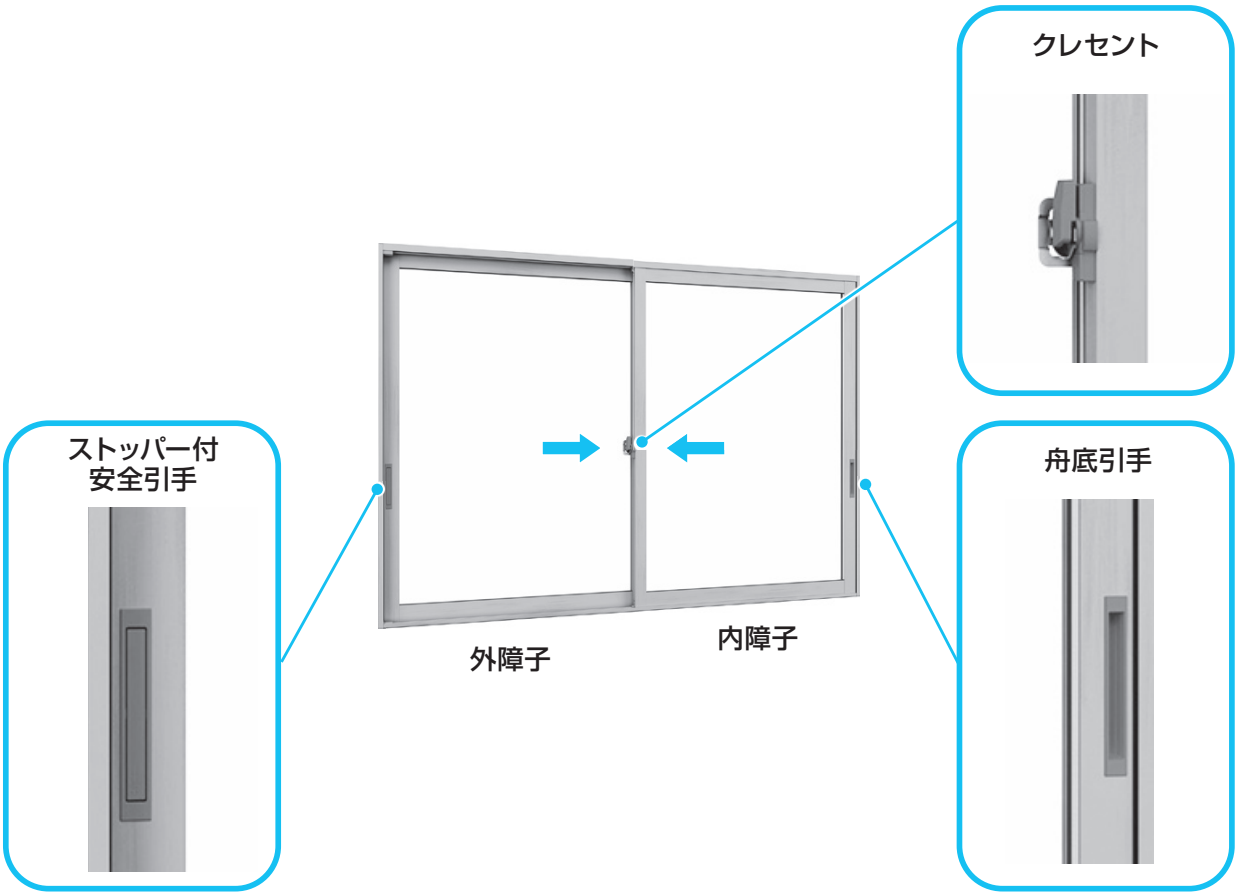
ご使用前に確認してください

●必ず、「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

●お手入れ方法については「お手入れ・調整方法」を参照してください。

■各部の名称

●引違い窓
画像は正（左）勝手タイプを表す

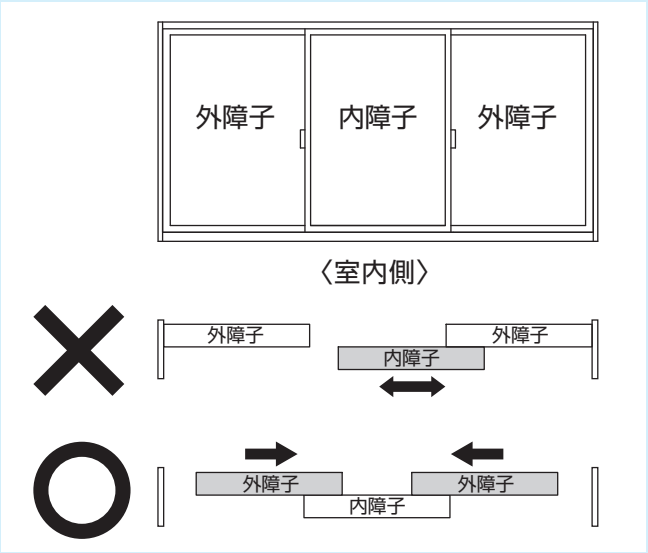


開閉時の注意事項

引違い窓は下記のようにしてご使用ください。

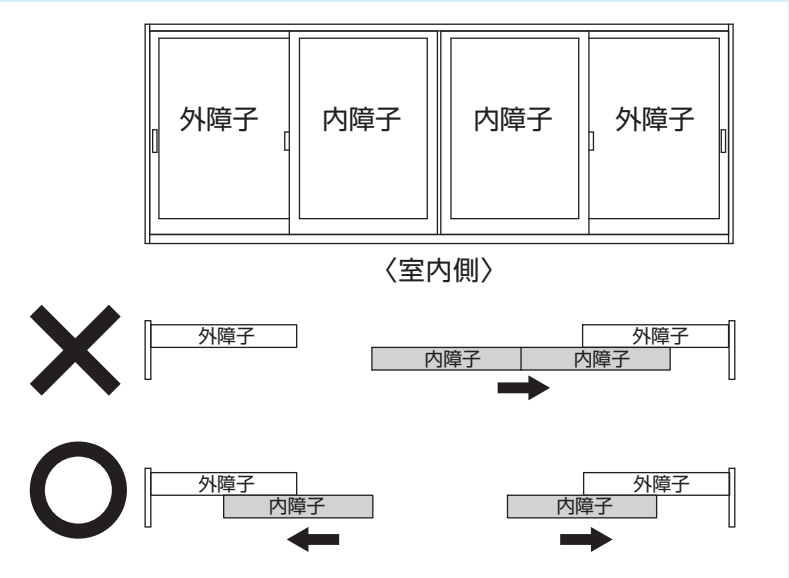
● 3 枚建（両袖タイプ）の場合

中央部の障子のみを単独で動かすことはできません。

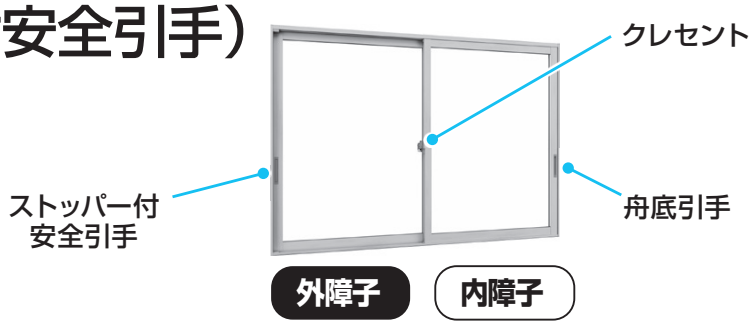


● 4 枚建の場合

中央部の 2 枚の障子を下記のように動かすことはできません。



窓の開け方（ストッパー付安全引手）

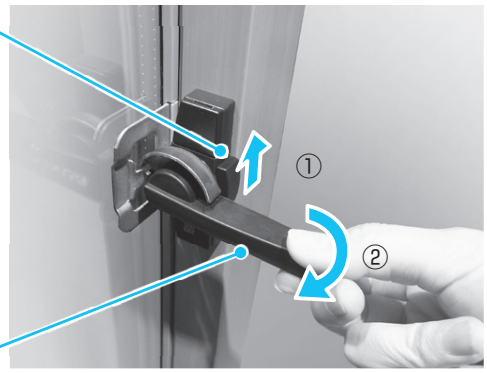


画像は正（左）勝手タイプを表す

1 クレセントを解錠する

クレセントロックを上げ、
ノブを下にまわします。

●クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。

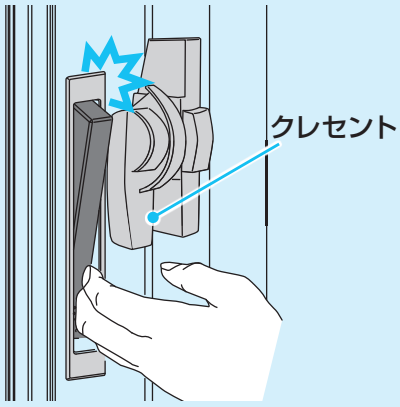


2 窓を開ける

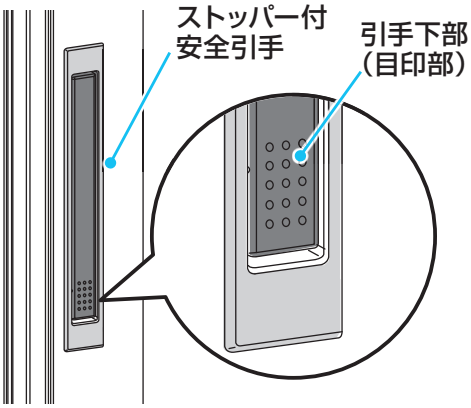
引手の下部を押して静かに開けたい位置までスライドさせます。

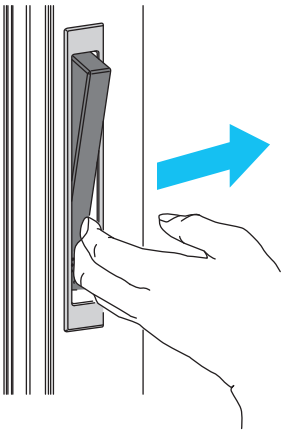
⚠注意

●窓サイズによっては、引手のストッパーがクレセントの柄に当たる場合があります。窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような（乱暴な）操作をすると商品の破損や、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



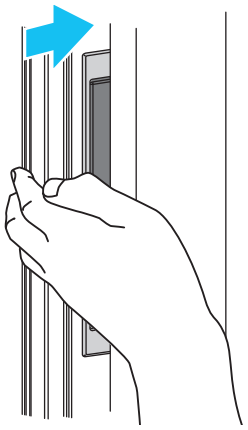
●引手とクレセントの間や、窓と窓のすき間に手や足を置かないでください。
指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。





3 窓を全開にする

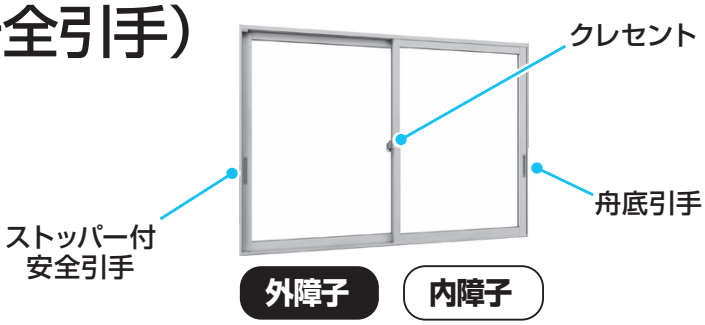
引手から手を離し，戸先に手を添えて外障子を静かに押し込んでください。



⚠注意

- 勢いよく障子を押し込まないでください。指をはさむなど思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

窓の閉め方（ストッパー付安全引手）



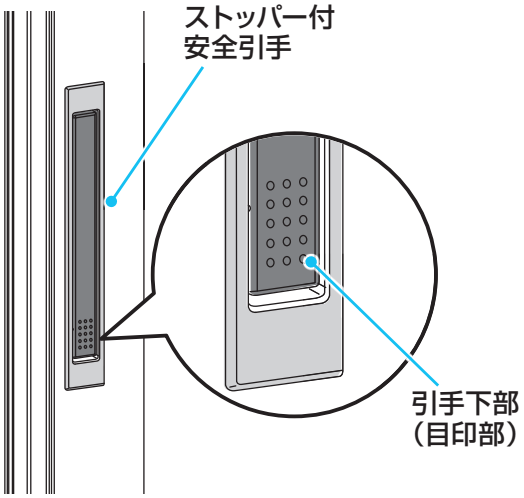
画像は正（左）勝手タイプを表す

1 窓を閉める

引手の下部を押して静かに最後まで閉めます。

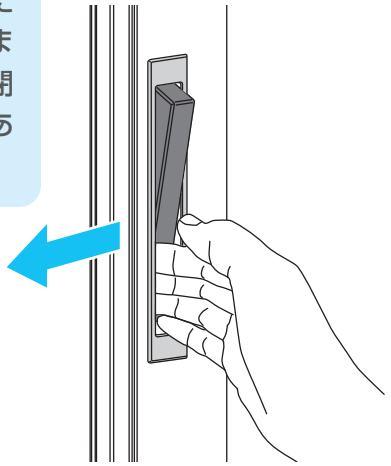
⚠注意

- 引手以外の部位を持って窓を開閉しないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



お願い

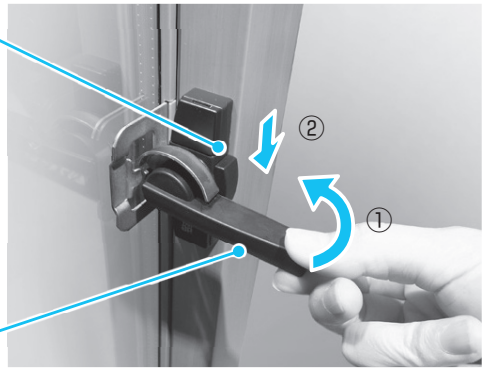
- 窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。無理な操作や誤った操作、また衝撃のあるような（乱暴な）開閉をすると引手を破損するおそれがあります。



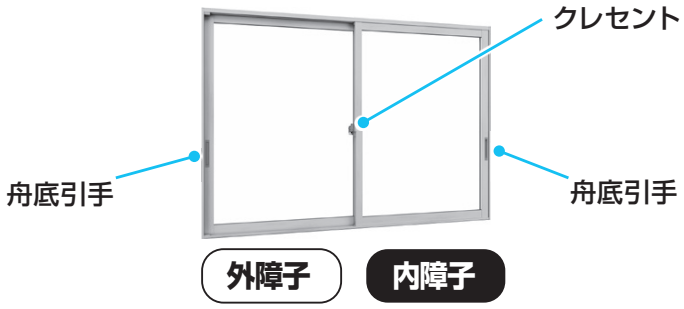
2 クレセントをロックする

ノブを上にまわし、クレセントロックを下げます。

- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。



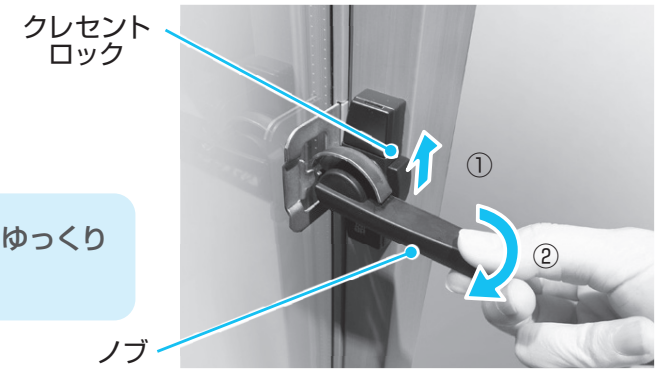
窓の開け方（舟底引手）



画像は正（左）勝手タイプを表す

1 クレセントを解錠する

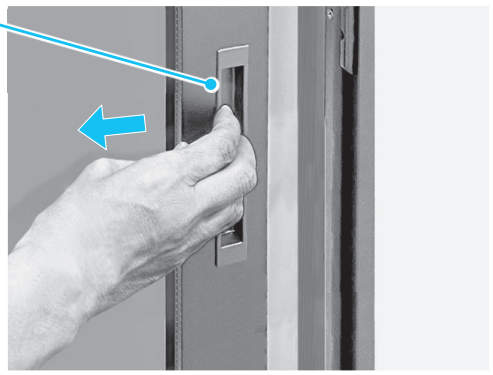
クレセントロックを上げ、
ノブを下にまわします。



- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。

2 窓を開ける

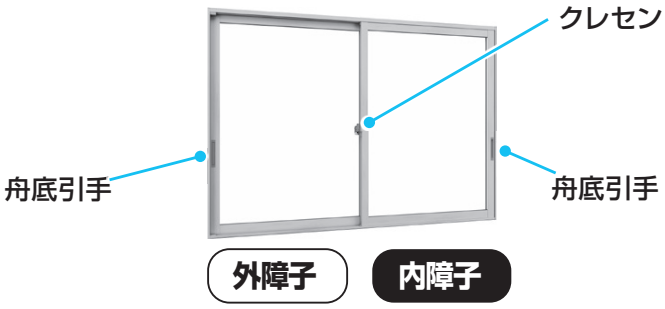
引手に指をかけ、静かに開けたい
位置までスライドさせます。



⚠注意

- 窓サイズによっては、引手とクレセントが同じ高さの場合があります。
  窓の開閉はゆっくり静かに行ってください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 窓と窓のすき間に手や足を置かないでください。
  指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

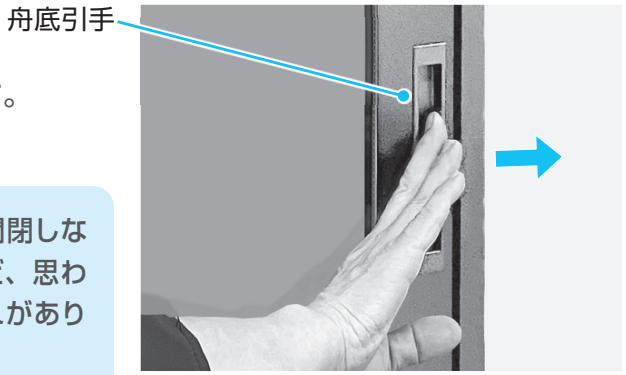
窓の閉め方（舟底引手）



画像は正（左）勝手タイプを表す

1 窓を閉める

引手に指をかけ、最後まで閉めます。

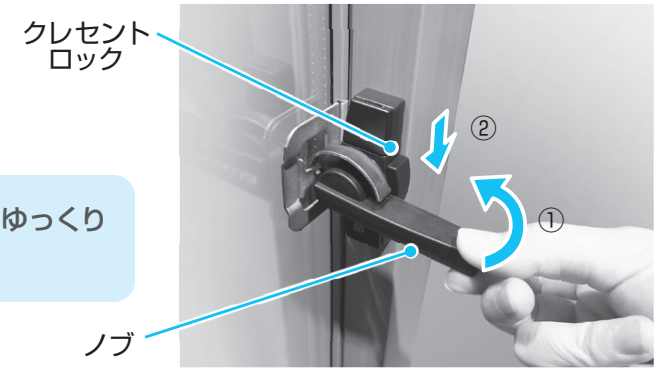


⚠注意

- 引手以外の部位を持って窓を開閉しないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

2 クレセントをロックする

ノブを上にまわし、クレセントロックを下げます。



- クレセントは、ノブを持ってゆっくりと確実に操作してください。

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながることがあります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。
また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【ガラス】

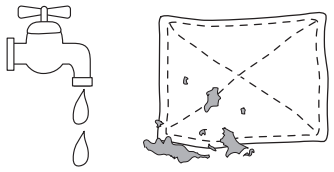
お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ

1 **表面のホコリ・砂を落とす**

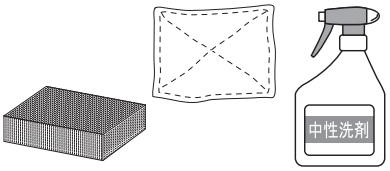
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 **水ぶきする**

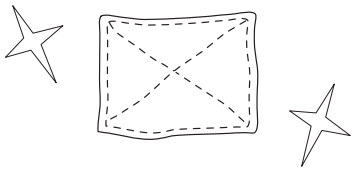
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 **水分をふき取る**

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



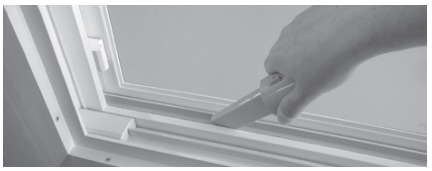
下枠・レール

● 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

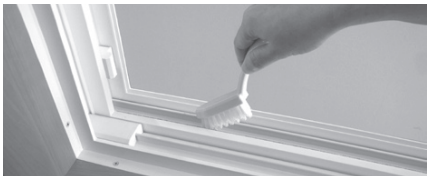
■下枠・レールのお手入れ

1 **砂やホコリを吸い取る**

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

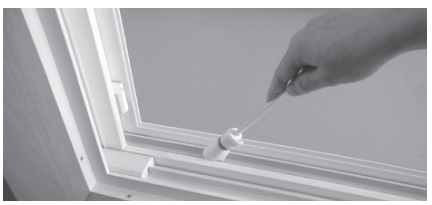


または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 **汚れをふき取る**

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



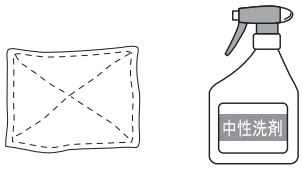
ガラス

- ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について
  ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。
  これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。
  ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ガラスのお手入れ

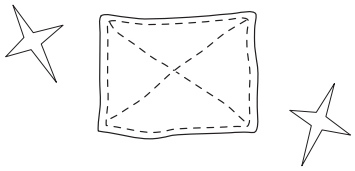
1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ハンドル・引き手

「■通常のお手入れ」を参照してください。

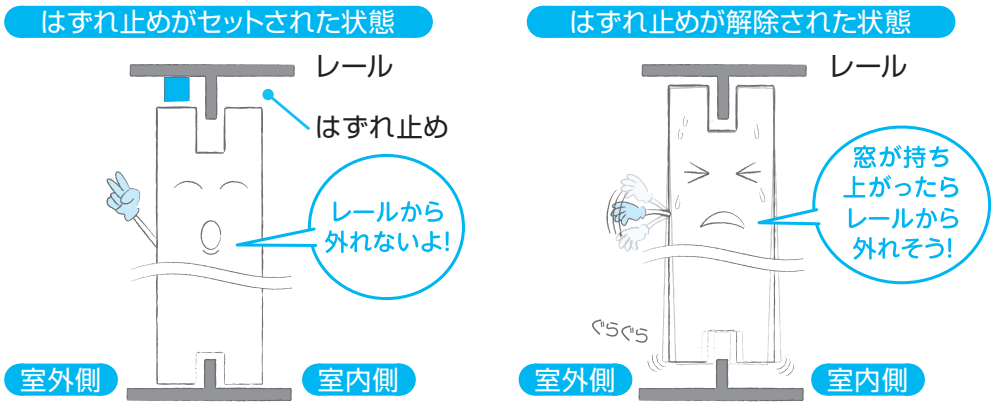
引違い窓（ウチリモ）

はずれ止めとは

はずれ止めは、窓が持ち上がって脱落、落下するのを防止するための部品です。
窓を取りはずす時以外は、絶対にはずれ止めをはずさないでください。
また、はずれ止めのない位置で窓を持ち上げると、窓がはずれますのでご注意ください。

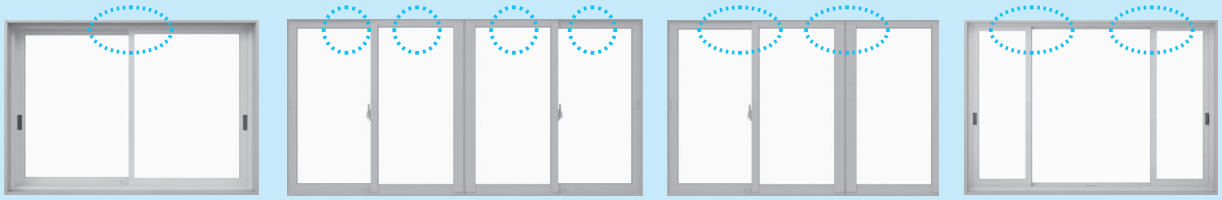
ご使用前に確認してください

●必ず、「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



はずれ止めは室内側の窓の上枠にあります。
※窓のタイプや枚数、サイズによって、はずれ止めの数や位置が異なります。
窓に隠れて見えない場合がありますので、窓を開閉して位置を確認してください。

［室内側］

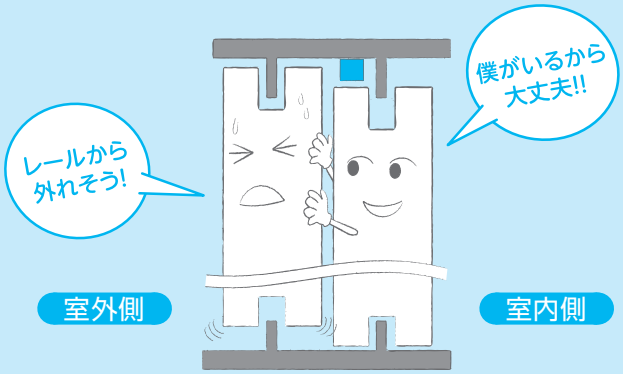


2枚建て
1か所

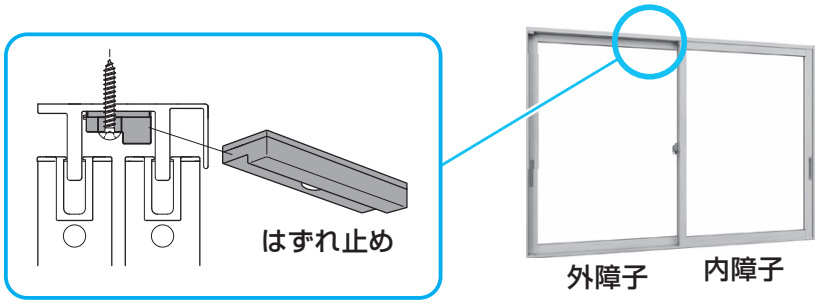
4枚建て
4か所

3枚建て
（突合せタイプ）
2か所

3枚建て
（両袖タイプ）
2か所



窓の取りはずし方



画像は正（左）勝手タイプを表す

⚠注意

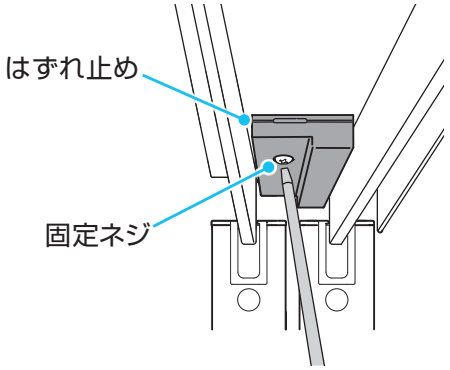
- ガラスの入った窓は重量があります。
  窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。
  窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
  ＜窓重量の例＞
  幅1500mm、高さ1800mm、「3+A12+3mm」の複層ガラスの場合：約20kg

1 はずれ止めを取りはずす

固定ネジをプラスドライバーで反時計回りにまわして、はずれ止めを取りはずします。

※窓サイズによって、はずれ止めの数は異なります。

- はずしたネジや部品は、取り付けの際に必要となりますので失くさないよう保管してください。



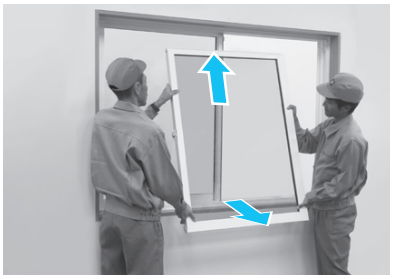
2 窓を取りはずす

内側の窓を持ち上げ、窓の下部を手前に引いて下のレールからはずします。

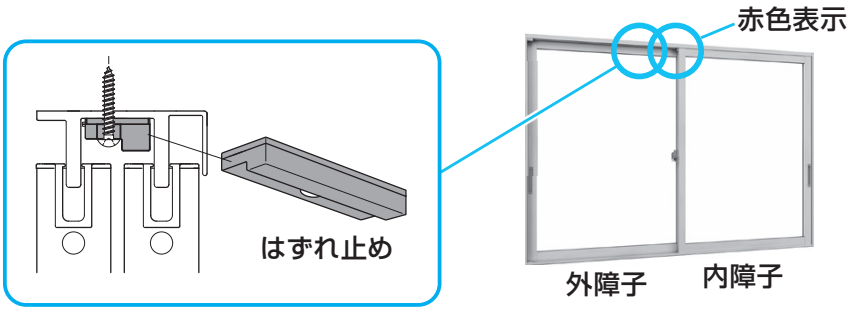
外側の窓も同様に取りはずします。

お願い

- 取りはずした窓は、養生された場所に静かに置いてください。乱暴に扱うと、窓が破損するおそれがあります。



窓の取り付け方



画像は正（左）勝手タイプを表す

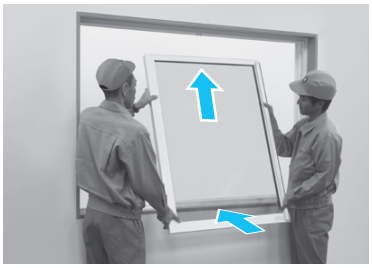
⚠注意

●ガラスの入った窓は重量があります。
窓の脱着は、必ず2人以上で行ってください。
窓を落下させるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

1 窓を取り付ける

外側の窓の上部を上のレールにはめ、窓を持ち上げて下のレールにはめ込みます。

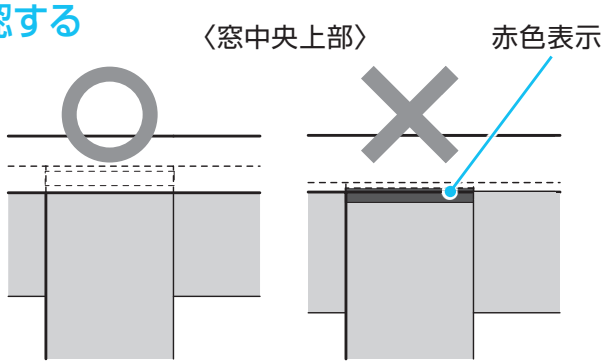
内側の窓も同様に取り付けます。



2 赤色表示が見えないことを確認する

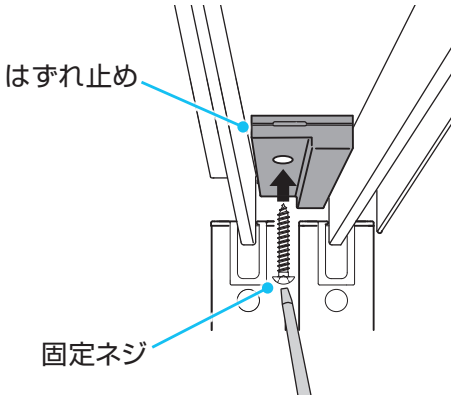
⚠注意

●赤色表示が見えないことを確認してください。正面から赤色表示が見える場合、上枠に対して窓のかかりが浅いため、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
赤色表示が見える場合は、販売店などに調整をご依頼ください。



3 はずれ止めを取り付ける

プラスドライバーではずれ止めの固定ネジを時計回りに少しずつまわしてしめます。窓の開閉に支障がないことを確認します。



⚠注意

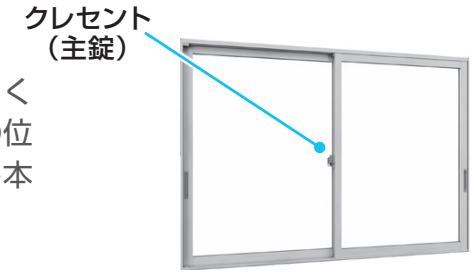
- はずしたはずれ止めは、必ずすべて取り付けてください。はずれ止めが取り付いていないと、窓がはずれて落下し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

- 固定ネジは強くしめすぎないでください。はずれ止めが破損するおそれがあります。

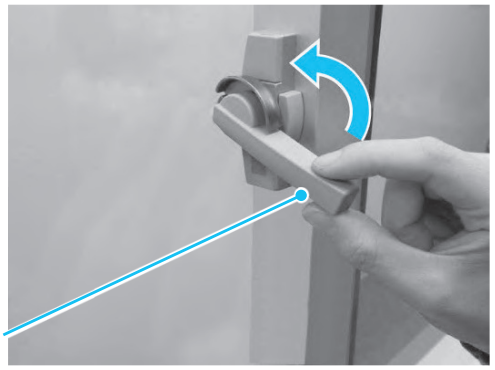
クレセントの調整方法

クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント本体の位置を上下に調整する方法を説明します。



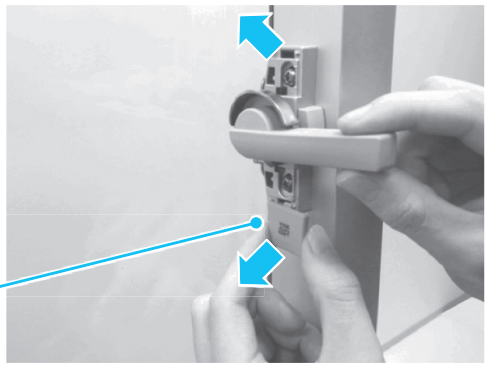
1 クレセントのノブをまわす

クレセントのノブを中央位置までまわします。



2 カバーをはずす

カバーをはずし、ネジが見える状態にします。

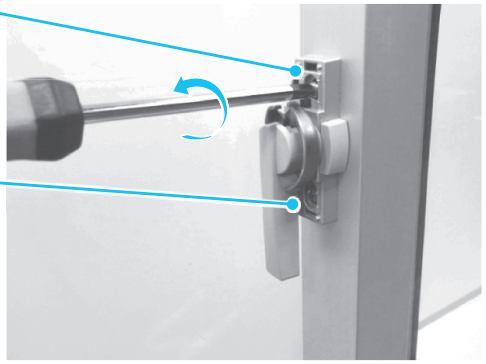


3 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

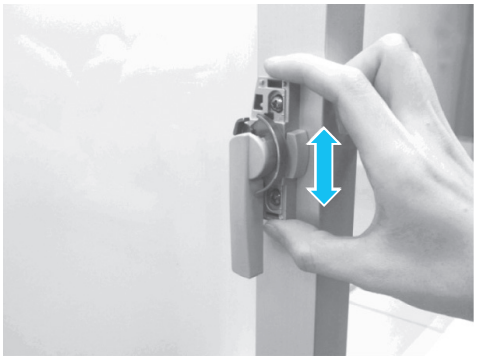
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



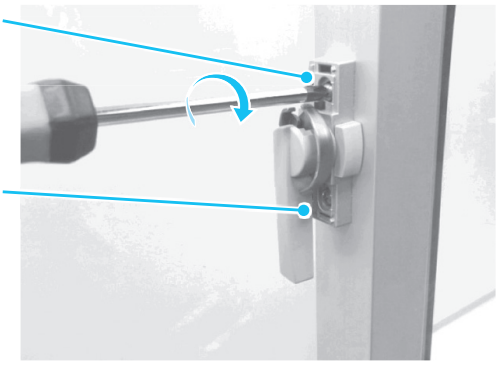
4 クレセントの位置を調整する

クレセントを上下に動かして位置を調整します。

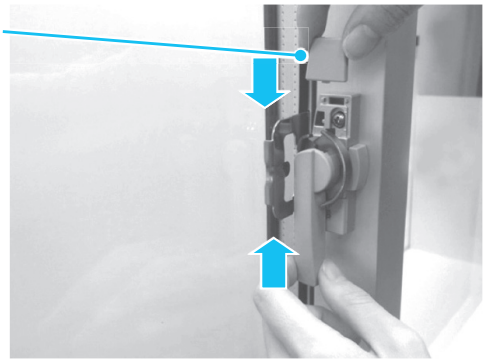


5 ネジをしめる

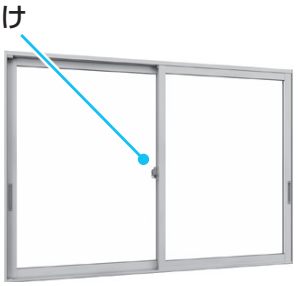
上下のネジを時計回りにまわしてしめます。



6 カバーを取り付ける



クレセント受けの調整方法



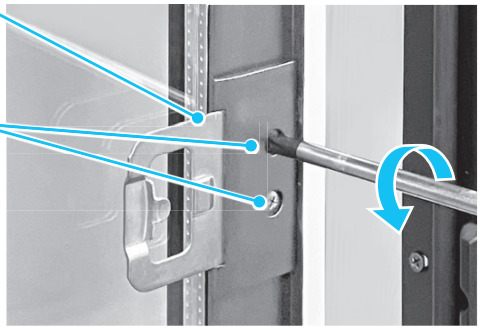
クレセントをロックしても窓ががたついたり、ロックしにくくなったりしたときには、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント受けの位置を左右に調整する方法を説明します。

本商品は、クレセント受けカバーを外さずにクレセント受けを調整できます。

●調整する際、すべりにくい手袋を着用すると、より作業性が良くなります。

1 ネジをゆるめる

プラスドライバーで上下のネジを反時計回りにまわしてゆるめます。



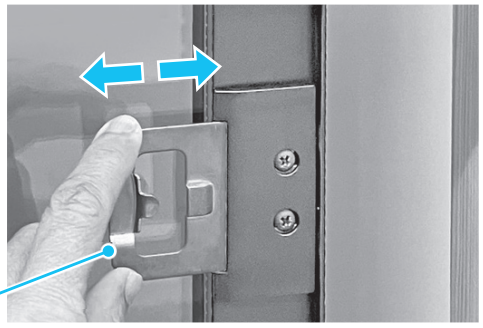
お願い

●ネジは絶対にはずさないでください。
部品が落下するおそれがあります。

2 クレセント受けの位置を調整する

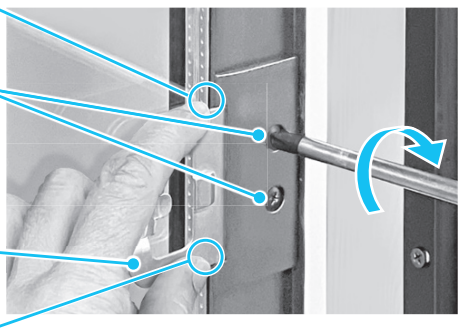
クレセント受けの上下を持ち、左右に動かして位置を調整します。

※動かせる範囲は左右約3.5mmずつです。



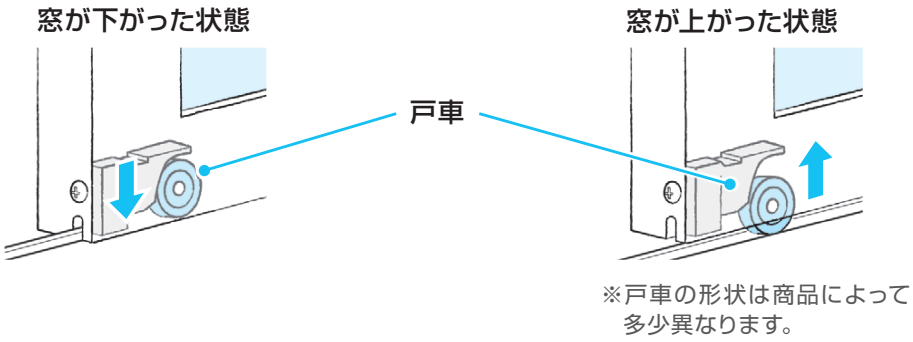
3 ネジをしめる

クレセント受けがズレないよう、框の側面に指をかけてしっかりと保持しながら、上下のネジを交互に少しずつ時計回りにまわして固定します。

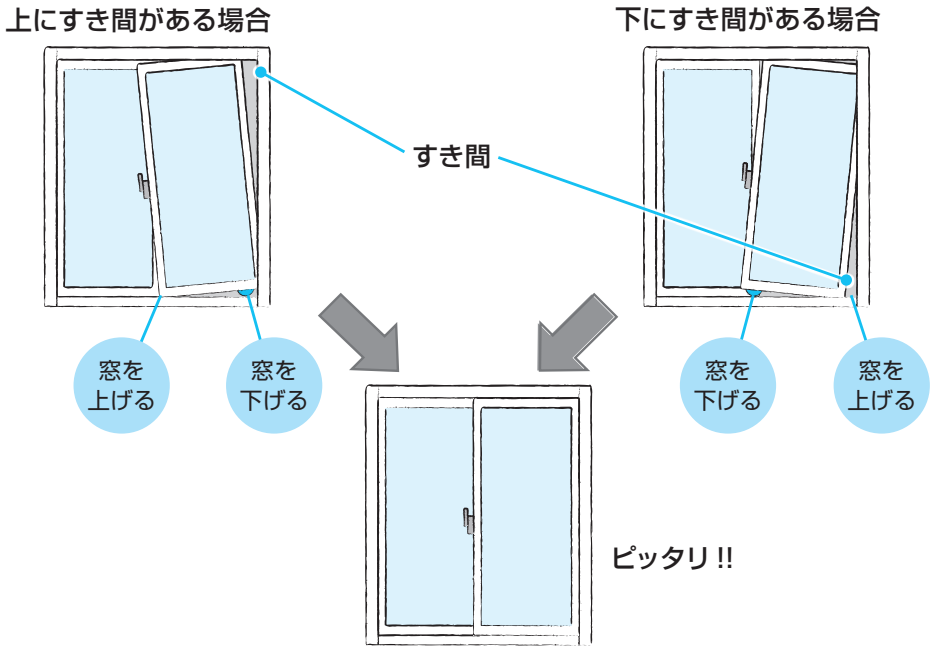


戸車とは

各窓の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整することで窓の高さが変わり、傾きを調整することができます。窓がピッタリ閉まらないときは、戸車調整を行ってください。

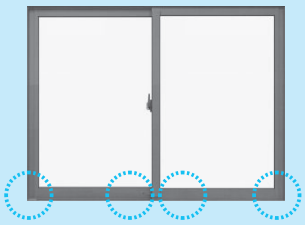


※戸車の形状は商品によって多少異なります。



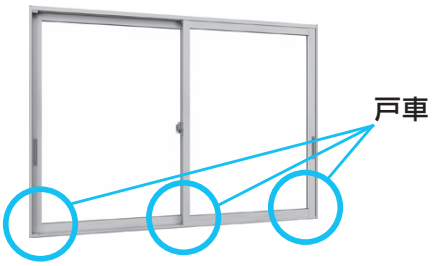
戸車は、窓の下両端にあります。

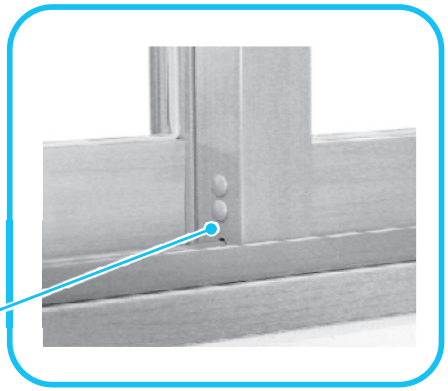
引違い窓



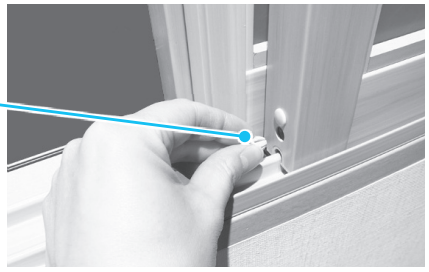
戸車の調整方法

戸車の調整ネジの位置や形状などは、商品によって異なる場合があります。
ここでは、窓タイプを例に説明します。





1 ネジ穴キャップがある場合は はずす



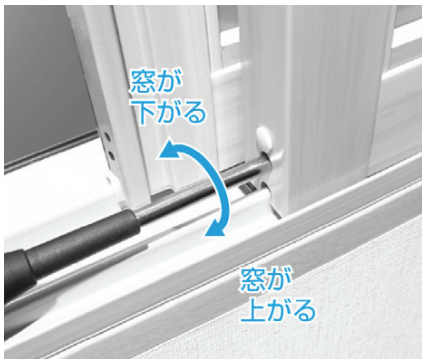
2 戸車を調整する

プラスドライバーをネジ穴に差し込み、調整ネジをまわして戸車を調整します。

※戸車を調整すると窓の高さがかわります。

お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



引違い窓（ウチリモ）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
クレセントがかかりにくい。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。 取り付けネジがゆるんでいる。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。 参照➡【お手入れ・調整方法】 「クレセントの調整方法」 「クレセント受けの調整方法」
	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。 参照➡【お手入れ・調整方法】 「戸車の調整方法」
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
窓の開け閉めがスムーズにできない。	はずれ止め部品の固定ネジがゆるんでいる。	はずれ止め部品の固定ネジをしめてください。 参照➡【お手入れ・調整方法】 「窓の取り付け方」
	下枠レールにゴミやホコリがたまっている。	清掃をしてください。 参照➡【お手入れ・調整方法】 「■下枠・レールのお手入れ」
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
	経年劣化により、気密材にねじれや縮みが生じている。	
	枠と窓の部品（下部摺動片、気密材）にこすれがある。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。

当社お客様相談室　受付時間　月～土　9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）　0120-20-4134

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
窓をロックした状態で窓がガタガタする。	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「クレセントの調整方法」 「クレセント受けの調整方法」
	戸車にキズがついたり、すりへったりしている。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
	クレセント本体が動かない、またはクレセント受けが曲がっている。	
	経年劣化により、下部摺動片、気密材、戸当り（開閉時に窓が当たる枠）などが破損している。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
窓をロックした状態で窓と枠にすき間がある。	戸車の高さが合っていない。	戸車調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「戸車の調整方法」
	クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない。	クレセント、またはクレセント受けの調整をしてください。 **参照➡【お手入れ・調整方法】** 「クレセントの調整方法」 「クレセント受けの調整方法」
	経年変化により、鴨居が下がって柱が傾いたり、上枠が下がったりして枠全体が傾いている。	お取り扱いの建築会社、工務店、または販売店に修理依頼をしてください。
赤色表示が見える。  	開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっている。	上枠と窓のかかり寸法が少ないまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。 窓の使用をやめ、施錠状態にしたうえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。
ストッパー付安全引手が押し込めない、ストッパーが戻らない。	部品が破損している。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。

アルミ製商品の腐食

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
アルミ商品表面などにつぶ状の汚れがついている。	商品にゴミなどがついている。	清掃をしてください。 参照➡【お手入れ・調整方法】 「■通常のお手入れ」
	ハウスクリーニング時に中性洗剤以外の洗剤により洗浄が行われた、またはその洗剤がついて商品が腐食した。	お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室に修理依頼をしてください。
	ドア・枠まわりの外壁、土間などに塩分の多い海砂の混入した材料が使用されていたため、商品が腐食した。	
	ドア・枠まわりの外壁、土間などに使用された材料や溶剤が原因で、商品が腐食した。	
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスにより商品が腐食した。	
	ガス給湯器の排気ガスにより商品が腐食した。	
	海岸地帯のため、空気中に含まれる塩分がついて商品が腐食した。	
	工業地帯のため、大気中に含まれる腐食を誘発する成分がついて商品が腐食した。	

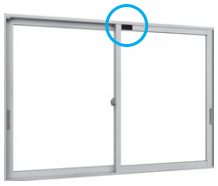
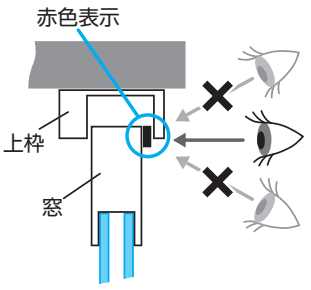
当社お客様相談室　受付時間　月～土　9:00～17:00（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）　0120-20-4134

保守点検項目

長期間、商品を使用していると、いろいろな不具合が発生します。
そのまま使い続けると、人身事故や家財の損害などの原因になるため、お掃除の際など、日常的に保守点検を行ってください。
下記は、点検していただきたい項目です。

窓の点検項目

■ウチリモ

点検項目	窓	点検箇所	参照・連絡先
ネジがゆるんでいないか？	引違い窓	クレセントネジ	「お手入れ・調整方法」の「クレセントの調整方法」
		クレセント受けネジ	「お手入れ・調整方法」の「クレセント受けの調整方法」
		戸車調整ネジ	「お手入れ・調整方法」の「戸車の調整方法」
		はずれ止め（上部）ネジ	「お手入れ・調整方法」の「窓の取り付け方」
	FIX窓	はずれ止め	「お手入れ・調整方法」の「窓の取り付け方」
	内開き窓・開き窓テラス	カムラッチ受け取り付けネジ	「お手入れ・調整方法」の「カムラッチ受けの調整方法」
		ピボットヒンジ取り付けネジ	
室内から見て赤色表示が見えていないか？	引違い窓 	窓上部（赤色表示） ●ポイント 窓上部の赤色表示を確認する際は、必ず正面から見てください。上部または、下部から見ると、正しい状態が確認できません。 	赤色表示が見える場合、開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっていることが考えられます。そのまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。 窓の使用をやめ、施錠状態にしたうえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。
	FIX窓 	窓が下枠にしっかりとはまっていない。	赤色表示が見えなくなるように窓をしっかりと枠にはめこんでください。窓と枠のかかりが浅い場合、窓が脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。 「お手入れ・調整方法」の「窓の取り付け方」

商品の保証について

商品保証とは当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室（➡ 0120-20-4134）に修理をご依頼ください。

●対象商品

□一般住宅用内窓商品

●保証期間

建築会社よりの引き渡し日（注）から2年間（電装部品については1年間）。
（注）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引き渡し日とします。
保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

●保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する“免責事項”を除き無料修理いたします。

＊ お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は当社お客様相談室にお問い合せください。

＊ この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

（1）商品名
（2）商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
（3）お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
（4）工務店、建築会社名など
（5）破損箇所や不具合状態

●免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

（1）当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合
（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
（2）表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
（3）建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
（例：商品を取り付けている建物の柱などが変形すること等により発生する不具合）
（4）商品の日常の使用、機能に影響を及ぼさない部材、部品の経年変化や経年劣化
（例：商品使用期間経過に伴う消耗、磨耗、キズ、褪色、さび、かびなど）
（5）商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合
（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温、低温、多湿による不具合など）
（6）商品または部品の材料特性に伴う現象
（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
（7）天災その他の不可抗力またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
（例：暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）

（8）通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、商品発売時点で実用化されている技術では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
（9）小動物や虫などの害による不具合
（例：犬、猫、鳥、ねずみなどの噛みキズ、引掻きキズ等により発生する不具合）
（10）引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例：日常のお手入れを行わないこと等により発生する不具合）
（11）お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
（例：複層ガラス表面に図柄等を含む有色のフィルムやポスターを貼ることや塗料を塗ること等により発生する不具合）
（12）本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
（13）犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
（例：窃盗を目的に家に入るため商品を破壊すること等により発生する不具合）

●補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。ただし、商品販売終了後10年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。
補修用部品に関してご不明の点がございましたら、当社お客様相談室にお問い合せください。

複層ガラスの保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において商品保証を行うことをお約束するものです。建築会社よりの引き渡し日（注）を保証開始日とした保証期間中に保証性能項目に関する不具合が生じた場合には、まず、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室（➡ 0120-20-4134）にご相談ください。

（注）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。分譲住宅（建売住宅）の場合は建築主様への引き渡し日になります。

●複層ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 （保証期間内でも、次のような場合には有料となります）
Low-E複層ガラス 複層ガラス アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ブラインド入複層ガラス	複層ガラスの内部結露（ガラスとガラスの間の中空層内部での結露）が発生しないこと	10年	・複層ガラスを構成する板ガラスに亀裂または破損が生じている場合 ・海抜1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・垂直以外でのご使用の場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※
アタッチメント付複層ガラス 格子入複層ガラス ブラインド入複層ガラス	アタッチメント・格子・ブラインドの変色が目立たないこと	2年	
ブラインド入複層ガラス	内部ブラインドの開閉に不具合がないこと	2年	・垂直以外でのご使用の場合 ・高温または多湿の環境下の使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・海抜1,000m以上での使用に関して、事前に打ち合わせがなされていなかった場合 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※

※商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、および製造年月等を確認いたします。

●熱処理ガラスの商品保証内容

※1999年4月以降に製造された当社製複層ガラスが対象となります。

商品名	保証性能項目	保証期間	免責事項 （保証期間内でも、次のような場合には有料となります）
強化ガラス 耐熱強化ガラス	自然破損しないこと※1)	10年	・必要な強度検討がなされずに破損した場合 ・ガラス表面についたキズが成長して破損した場合 ・特に強い外力の衝撃が加わった場合 ・破損したガラス片を回収、調査した結果、破損原因となる不純物が検出されなかった場合 ・ガラスが脱落しにくい施工方法や強化合わせガラスを採用するなど破損落下、飛散防止の対応を講じていないことにより発生した人体および器物への損害賠償 ・複層ガラスに当社のマークが打刻されていない場合※2)

※1）自然破損とはガラス中に存在する不純物による、外から力が加わっていない状態での不意の破損を指します。
現在の技術では自然破損をなくすことができないことをご理解ください。

※2）商品に打刻されたマークにより、当社製品であること、および製造年月等を確認いたします。

●複層ガラス商品共通の免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

（1）当社標準施工法および取り扱い上、設計上、施工上、使用上、メンテナンス上の注意事項が守られなかったことに起因する不具合

（2）使用上の誤りおよび不当な改造や修理など、人為的原因に起因する不具合
（ガラス表面にフィルムやポスター等を貼ることや、塗料を塗ることなどを含みます）

（3）火災、地震、風水害、その他天変地異に起因する不具合

（4）事前のお打ち合わせで商品保証の対象外であることをご了承いただいている場合

（5）実用化された技術では予測困難な現象に起因する不具合

（6）熱割れなどのガラスの破損

（7）板硝子協会・（一社）日本サッシ協会発行『複層ガラス・単板ガラスサッシの取り合いに関する仕様基準と解説』に準拠されていなかった場合

●保証内容

保証性能項目に関する不具合が発生した場合は、免責事項に該当する場合を除き、代替品（不具合が生じた当社製複層ガラスが仕様変更・販売終了している場合には同等品種または近似品種）を無料交換いたします。

＊ 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室にお問い合わせください。

＊ この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

（1）商品名

（2）商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）

（3）お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）

（4）工務店、建築会社名など

（5）破損箇所や不具合状態